

横浜DeNAにドラフト1位で入団した浜口遥
大投手(21)「神奈川県大」を輝かせた。

が7日、横須賀市長浦町の合宿所「青星寮」に入寮した。即戦力として期待されるサウスポーターは「結構緊張していたが、部屋を見て、しっかりと活躍した伯父の佐々木

誠氏（現ソフトバンク3
軍監督）のサイン色紙を
持参した佐野は「気が引
き締まる思い。1、2段
階上のレベルでどこまで
通用するか楽しみ」と意
気込んでいた。

ダイエーなどで活躍した伯父の佐々木誠氏からもらった色紙を持参したドラフト9位の佐野（明大）

笑顔で入寮したドラフト1位の浜口(神大)

横須賀市長浦町の合宿所「青星寮」



い」とエールを送られ、「いろいろな方の支えがあってスタートラインに立った。活躍しないと意味がない」と気持ちをさらに強くした。

9日に新人合同自主トレニ

ングがスタート。サウスポーは「とにかく一生懸命練習して早くプロの環境に慣れ、自分の力を発揮してアピールしたい」と気持ちを高ぶらせた。

(小林 剛、写真も)

「まず1勝し、シーズンが終わった時点で2桁勝利を挙げて新人王が取れていたら。そこを目指して頑張っていきたい」。先発として期待される浜口はしっかりと目標を見定めている。

プロ野球という新たな世界に飛び込んでも、自分のペースは崩さない。大学3年の時から愛用するハンモックを持ち込んだ。「試合前日の眠れないときに気持ちを落ち着かせていた。ダラーンとなれるし、部屋に置いていてもおしゅれ」。リラックスできるスペースも確保した。

年末年始は実家の佐賀県基山町で約2週間ゆっくり過ごした。再会した県立三養基高時代の恩師には「謙虚に、素直に、感謝の気持ちを持ってやりなさ

持参したハンモックに横たわる浜口